

今回の再編実施計画（原案）に伴う長浜市に関する主な内容

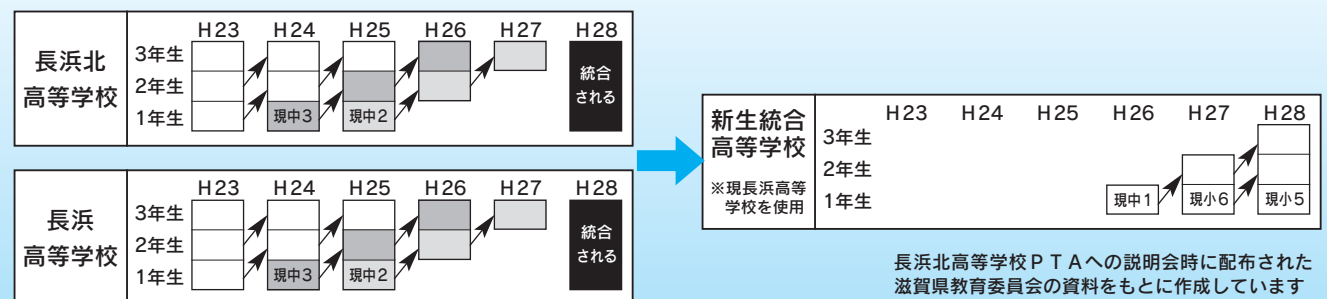
- ①長浜北高等学校と長浜高等学校の統合
計10学級⇒7学級 ◇3学級（40人/学級×3学級＝120人）マイナスになっています。
- ②長浜北星高等学校定時制課程の廃止
商業学科の廃止 ◇1学科1学級（40人/学級×1学級＝40人）マイナスになっています。
※長浜北星、彦根東、彦根工業の定時制課程を廃止し、能登川高等学校に総合単位制高等学校が新設されます。
【その他】全日制総合学科にまちづくり系列の学級を新設
- ③長浜農業高等学校の学科減
4学科⇒3学科 ◇1学科1学級（40人/学級×1学級＝40人）マイナスになっています。
- ④虎姫高等学校に設置する予定だった中高一貫校の設置は行わない

全体で120人から160人のマイナスになります

子どもたちは、将来の長浜市や滋賀県を担う地域の宝です。その宝をより光り輝かせるためには、教育の充実が必要不可欠です。教育は国の礎であり、国家百年の大計であると言われています。しかし、今回公開された基本計画及び実施計画は、あまりにも唐突で一方的な手続きがなされています。高校再編は、理念と夢・希望ビジョンを持って成すべきではないでしょうか。市では市民の皆さんとともに、改めて教育について考えてみたいと思います。

将来の高等学校はどうなるのでしよう。改めて教育について考えてみませんか。

下図は、長浜北高等学校、長浜高等学校及び新生統合高等学校の再編に伴う在籍生徒の変動を表したものです。両校とも平成26年度から生徒の募集を止め、H26年度には2学年、H27年度には1学年しか在校生がいなくなり、先輩・後輩のつながりの乏しい学校になってしまいます。



② 将来に對して夢と希望がもて地域の誇りとなるような熱意あふれたものにしていただきたい。

① 滋賀県知事からの回答書の内容
「県立学校のあり方検討委員会」の報告や「滋賀県産業教育審議会」の答申、「意見聴取会」での県民や保護者からの意見等を踏まえ、策定されたものであり、白紙にすべきものと考えていませんが、広くご意見を伺いながら、より良いものにしていただきたい。



市からの公開質問状の概要を8月1日号の「広報ながはま」に掲載しています。また、市ホームページには公開質問状の原文を掲載していますのでご覧ください。

再度の見直しを要請
7月25日に市長が提出した公開質問状の回答が、8月5日に教育委員会から市長に届きました。今回、届けられた滋賀県知事と滋賀県教育委員会教育長からの回答書の概略は次のとおりです。

県民政策コメント

現在、この計画（原案）は、県民の意見を広く聞き、その結果を計画（原案）に反映させるために、県民政策コメントを8月22日（月）まで実施されています。ご意見のある場合は、滋賀県ホームページから提出することができます。なお、計画（原案）も同ホームページに掲載されています。

※計画原案内容及び県民政策コメントのホームページ
<http://www.pref.shiga.jp/public/>

以上のような内容であったことを見直したうえで、改めて回答、内容を改めたいという内容が、市から届きました。今回の再編計画に対して、様々な意見が出ています。また、滋賀県知事からの回答書には、滋賀県知事から「意見聴取会」での県民や保護者からの意見等を踏まえ、策定されたものであり、白紙にすべきものと考えていませんが、広くご意見を伺いながら、より良いものにしていただきたい。」とあります。また、滋賀県知事からの回答書には、滋賀県知事から「意見聴取会」での県民や保護者からの意見等を踏まえ、策定されたものであり、白紙にすべきものと考えていませんが、広くご意見を伺いながら、より良いものにしていただきたい。」とあります。

滋賀県教育委員会教育長からの回答書の内容
今回の再編計画に対して、様々な意見が出ています。また、滋賀県知事からの回答書には、滋賀県知事から「意見聴取会」での県民や保護者からの意見等を踏まえ、策定されたものであり、白紙にすべきものと考えていませんが、広くご意見を伺いながら、より良いものにしていただきたい。」とあります。



▲YANAGIMANと市長
▲旧余呉小学校にて「自然を見ながら・・・」



ケツメイシ、倅田來未さん、中島美嘉さんを知っていますか。国内外で活躍する、日本を代表するアーティストです。名前を知らなくても、まちにあふれている彼らの作品を、一度は見聞きしたことがあるのではないのでしょうか。彼らのようなビックスターへ楽曲提供やプロデュースを手掛けているのがYANAGIMAN（ヤナギマン）です。そのYANAGIMANがこの夏、長浜で躍動します。『LINK MUSIC CLUB～YANAGIMANと歌って踊ってもっと音楽を好きになろうin滋賀県～』と名付けられたこの企画は、現在は廃校となった旧余呉小学校を舞台に開催される、1泊2日のミュージックスクールです。また、その2日間のみならず、参加者の中に有望な人が見つければ、継続して一流の講師が指導にあたり、将来的には第一線で活躍できるアーティストに育てたいというプロジェクト。

ではなぜ、この地でこのようなスクールが開かれるのでしょうか。主催者であるYANAGIMANが市長に思いを語りました。

「この地は、風が緑の中を通ってきます。そのことがまず気に入りました。また、近くの竹生島には、芸能音楽の神様がいらっしゃいます。環境の良さにひかれました。」
そもそも開催のきっかけは、東京で開催された交流会で、滋賀県知事の嘉田さんが「音楽による地域振興を」と述べたことに共感したからだそうです。そして、県内候補地を視察した結果、旧余呉小学校のたたずまいや周辺環境の良さから、長浜市余呉町での開催が決定しました。

「長浜の中でも、ここ余呉が一番自然の美しいところ。この環境ならきっとすばらしい音楽ができるはずです。」と市長。
実は、YANAGIMANにとって、音楽による地域活性化は今回が初めての取り組みだそうです。いろんな思いのもと開催される音楽教室をYANAGIMANはこんな教室にしたいそう。
「音楽はノリだと思ふ。ノリとは楽しむこと。音楽は難しいものではないし、基本は楽しんでもらうものです。スクールではまず、音楽を楽しんでもらいたいですね。その中から、きらめく人が出てきてくれれば。」
YANAGIMANは続ける。

「インターネットなどの普及によって、いいアーティストがいれば情報はどこからでも発信できる時代になりました。都会か、地方かは関係なくなってきました。滋賀出身のアーティストが滋賀で活動し、滋賀から情報を発信する。そしてそれを支えるスタッフも滋賀の人。オール滋賀のチームができれば最高ですね。」
そして、市長も
「教室の生徒さんの中から、ビクンな歌手がでてくることを期待しています。余呉は文化芸術の里です。そこにYANAGIMANによって音楽の里という代名詞を加えてほしい。市の新しい財産になることを願っています。」と大きな期待を寄せていました。



このYANAGIMANによる音楽体験スクール。授業の様子は一般見学可能です。プロが手がける楽曲制作の現場をぜひご覧ください。
【とき】8月22日(月)～23日(火)
【ところ】旧余呉小学校（余呉町下余呉）
☎ 北部振興局 地域活性化室 (☎82-5910)